

第2回エフエムしみず静岡 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和7年7月23日（水）16:00～17:00

2. 開催場所 江崎ビル5階会議室 静岡市葵区七間町8-20

3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 7名

欠席委員数 0名

ご出席委員の氏名

望月紀久朗（委員長）

小堺昭宏

岡谷典子

高木敦子

浪越達也

藤田尚徳

山梨由博

放送事業者側出席者村

堀川恵司（代表取締役社長）

西智樹（常務取締役）

清水正義（担当部長）

東祐希（編成制作）

4. 議 題

番 組 : 第 72 回安倍川花火大会

放 送 日 : 令和 7 年 7 月 19 日(土) 19:00~21:00

5. 審議内容

冒頭、事務局から挨拶。弊社の活動報告を行ったあと、新会社となり初回の番組審議会のため、委員の挨拶を実施。放送番組趣旨説明のあと番組試聴に移り、続いて合評を行った。

7 月 19 日（土）放送「第 72 回安倍川花火大会」に対する主な発言内容と会社からの回答は以下のとおりである。

（望月委員長）

雨で中止になり代替放送となったが、そのための準備は大変だったと思う。

実行委員長のコメントの際、後ろの音が気になった。（事務局での収録だったと説明）

（藤田委員）

テーマが良かった。安倍川花火大会の開催日前に、予習番組として放送してはどうか。4 月に合併したということで、S-Wave の紹介を入れていたのが良かった。この 1 年は引き続き、箇所個所で入れた方が良いと思う。パーソナリティ（北澤）のまとめ方が上手かった。

（高木委員）

安倍川花火大会の歴史などを知り、全国的にみても特殊なものだと知った。花火は見るものという意識が強く、現場の臨場感を楽しみに例年会場に行っているため、花火大会のラジオ放送は難しいのでは？と思っていたが、（今年は雨で中止だったが）こういった情報を生放送で入れる形であれば、会場から生放送をする意義が十分にあると感じた。（町内会でも花火を必ず上げる、花火が上がった時に町内会の特徴や取材内容を話す、など）

（小堺委員）

安倍川花火大会の歴史、100 年以上続く企業のインタビューなど、歴史的なことを知れたことが良かった。（今回は雨で中止だったが）花火の現場で放送する時、花火の音の問題などが大変だと思う。

（岡谷委員）

イベント化した安倍川花火大会しか知らなく、歴史のあるものだと学んだ。大会事前に

アナウンスを入れるともっと愛着が湧くと感じた。

（山梨委員）

事前に放送することによって知識を持って安倍川花火に行くことが出来る。100 年企業インタビューは聴いていて面白かった。特別番組の企画に限らず、違う場所でも（そういった番組を作って）流してはどうか。

（浪越委員）

パーソナリティ（北澤）の喋りが良かった。100 年企業インタビューや安倍川花火大会の歴史、裏側を知れる内容だったと思う。安倍川花火大会の関係者の幅を広げて、もっと色々な関係者にインタビューしても興味深い内容になるのではないか（花火師以外でも、設営する企業や交通整備をする企業など）

6. 審議機関の答申 または 意見に対して取った措置

各委員から出された意見を制作現場に伝えるとともに、今後の番組編成、制作、企画の検討材料とするよう指示した。

7. 審議機関の答申 または 意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法および年月日

自社ホームページでの公表

8. その他の参考事項

次回開催日：令和 7 年 9 月 17 日（水）14：00～15：00